

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	伊勢崎市立宮郷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	5	4	5	4	4	1	29	38
児童数	152	169	154	165	140	142	4	926	

II 研究の概要

1. 研究主題

<p>基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び、考え、行動できる児童の育成 - 個に応じたきめ細かな算数・国語の指導を通して -</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

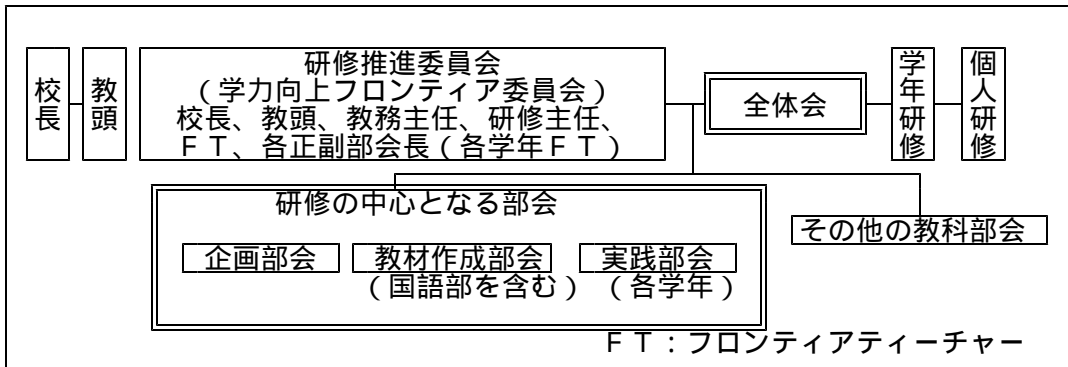
<p>・実施学年 - 全学年 ・教科 - 算数・国語(言語事項) 学校全体の取組とするため全学年で実施している。また、算数や国語(特に言語事項)は、児童の学力の基盤であり、これらに重点をかけることは児童の学力の格差を是正することができると思えたため。</p>

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>○ 平成15年度のテーマ 基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び、考え、行動できる児童の育成 - 基礎・基本の明確化と定着を目指して -</p> <p>○ 研究の見通し 算数・国語(言語事項)の学習において、基礎基本を明確にし、個に応じたきめ細かな指導を行えば、児童は学年段階にふさわしい学習習慣や基礎的・基本的知識、能力、技能などの基礎・基本を身に付けることができるであろう。</p> <p>○ 研究の内容・方法 基本的な学習態度の育成 ・「関心・意欲・態度面」の実態調査 ・学校における基本的学習態度の育成 ・家庭学習がんばりカードの作成 基礎・基本の明確化 ・基本教材の設定 ・基本教材集約表の作成 ・補助プリントの集約 ・学年の実態に応じた本読みカードの作成 基礎的・基本的な知識・能力・技能の習得 ・計算大会・漢字大会の実施 ・百マス計算の取組 ・計算タイムの実施 ・読書タイム・読み聞かせの実施 個に応じたきめ細かな指導 ・習熟度別学習の取組(1クラス2分割、2クラス3分割、学年4分割) ・少人数学級指導の取組(クラス内の習熟度を加味した学習) ・ティームティーチングの取組(TT教員と担任、外部講師と担任) 先進校の視察、資料収集</p>
--------	---

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成16年度のテーマ 基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び、考え、行動できる児童の育成 - 基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力などの確かな学力の育成を中心として - ○ 研究の見通し 算数の学習において、興味・関心を高める活動を取り入れたり、課題解決的な学習活動を取り入れたりすることにより、自ら学び、自ら考え、行動できるようにするであろう。 ○ 研究の内容・方法 基本的な学習態度の育成 ・「関心・意欲・態度面」の実態調査 ・学校における基本的学習態度の育成の改善充実 ・家庭学習がんばりカードの改善充実 基礎・基本の明確化 ・基本教材集約表の改善充実と完成 ・補助プリントの集約と充実 ・学年の実態に応じた本読みカードの改善充実 基礎的・基本的な知識・能力・技能の習得 ・基本的な指導（学習）過程の設定 ・計算大会・漢字大会の実施 ・百マス計算の取組の改善充実 ・計算タイムの改善充実 個に応じたきめ細かな指導 ・習熟度別学習の取組の改善充実 ・少人数学級指導の取組の改善充実 ・チームティーチングの取組の改善充実 確かな学力の育成 ・思考力・判断力・表現力・問題解決力を高める指導方法の研究 ・自ら学ぶ意欲を高める指導方法の研究 評価方法の研究 ・一時間内の学習の評価
--------	--

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

基本的な学習態度の育成
発達段階に応じた「学習習慣育成のためのめやす」を設定したり、家庭学習の徹底を図るための「家庭学習がんばりカード」の取組を行ったりするなど、家庭との連携を図りながら共通基盤に立った指導を行ってきた。このことにより、学校や家庭での基本的な学習態度・学習習慣が次第に改善されてきた。また、家庭学習においては、自主的な学習に取り組める児童が増えてきた。
「家庭学習がんばりカード」を実施したことにより、クラスの約半数の児童が家庭での自主勉強を意識するようになった。
(中学年抽出児童104名中49名)

基礎・基本の明確化
算数において、児童に身に付けさせたい基礎的・基本的な事項や内容を「基本教材」という形でまとめてきた。また、国語においては、特に言語事項を基本としてきた。このことにより、今まで教科書通りであった学習指導が、基礎・基本という視点でよりいっそう明確になってきた。そして、授業のねらいをどこに置き、何をどのように指導していったらよいかなどの指導の方針が立てやすくなった。

基礎的・基本的な知識・能力・技能の習得
基本教材が確実に身に付くようにするため、基本教材やその類題・応用問題などを業前活動や始業時の計算タイム、放課後、さらに、学期末の計算大会や漢字大会などを活用し、習熟できるまで繰り返し取り組ませてきた。このことにより、基礎的・基本的な知識・能力・技能の習得が図られるようになり、児童一人一人に基礎・基本が確実に定着するようになってきた。
計算力をつけるため、マス計算が取り入れられない1年を除いて各学年で百マス計算を取り入れた学習を行ってきた。このことにより、児童一人一人の計算は速くなり、計算の苦手だった児童も回数を重ねるに従って、速く計算したいという意欲も高まり、計算が速くなってきた。また、それぞれの児童の計算に対する不安が解消され、授業への取組がよくなってきた。

国語については、漢字テストや漢字大会を実施する中で、児童も自主的に学習を進めるようになり、児童の漢字を書く力や読む力が次第に付いてきた。また、全校読書や低学年を中心としたボランティアによる読み聞かせの実施、発達段階に応じた本読みカードの作成などを行ってきたことにより、児童の読書に対する興味・関心が次第に高まってきた。

きめ細かな指導
少人数学級の指導や算数科の習熟度別学習・チームティーチングなどの少人数指導により、教師の支援が十分行き届くようになり、個に応じたきめ細かな指導や支援が行えるようになってきた。また、児童は自己のペースで学習を進めることができるようになり、今までつまづきがあったり、消極的であったりした児童も、支援の手が入るようになったことで、児童が自信をもつようになってきた。そして、どの児童もやる気を出して学習に取り組めるようになってきた。

2. 今後の課題

本年度は、基礎・基本の確実な定着を図るための実践的な研究が中心であった。確かな学力を育成していくためには、更に、児童の興味・関心を高める指導方法や、課題解決的な学習活動の在り方を研究していかなければならない。
高学年の実践においては「振り返りカード」などで自己評価力を付けてきたが、この自己評価を次の指導や支援にどのように生かしていくかなど、一時間の中の評価の在り方を研究していかなければならない。
算数の基本教材を全単元で設定してきたが、今後は、基本教材の系統性やその根拠を明確にしていく必要がある。

IV 学力等把握のための学校としての取組

定期的な学力検査（教研式 標準学力検査）の実施 検査の目的 児童の学力の実態を客観的に把握し、指導に生かす 実施教科 国語・算数 実施時期 平成 15年 4月（年 1回） アンケートによる児童の意識・実態調査 調査の目的 「興味・関心・意欲・態度」や家庭学習状況等に関する実態を把握し指導に生かす 実施時期 平成 15年 7月、平成 16年 2月（年 2回）
--

V フロントアスクールとしての研究成果の普及

群馬県学力向上フロンティア推進協議会で発表 （平成 16年 1月、於県庁、対象：県内指導主事、校長、教諭等） 学力向上フロンティア中部地区協議会で発表 （平成 15年 12月、於中部教育事務所、対象：中部管内指導主事、校長、教諭、PTA会長等） 伊勢崎市の校長会・研修主任会などで紹介 （平成 15年 8月、平成 16年 2月、於市役所、市研究所等、対象各学校研修主任） 中部教育事務所管内の学校へ紀要等研究物の配布（平成 16年 3月） 「学校だより」にてフロンティアの取組について紹介 （月 2回の「学校だより」の中に「フロンティアスクールコーナー」を設け取組を紹介） Web ページで紹介（ http://www.miyago-es.gsn.ed.jp/ ）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|--|--|--|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 6学級以下 | <input type="checkbox"/> 7～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～18学級 | <input type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input type="checkbox"/> 生活 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |